

現況検査報告書

実施日	2020年11月05日		総合判定 適合
登録物件名	ライフサポート有限会社 采女町 様邸	Y2611686	
事業者名	ライフサポート有限会社	A4101521	
事業者立会者	棚橋 寿詔		
報告者	河合 和美		

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:操作 D:打診 E:触診 F:書類
「判定」欄 ○:適 ×:不適 -:該当なし 保留:判定保留

1. 基礎(構造)

No.	項目	方法	判定
1-1	仕上げの種類の確認 イ. モルタル仕上げその他の塗り仕上げ		
1-2	幅 0.5mm 以上のひび割れ	A B	○
1-3	深さ 20mm 以上の欠損	A B	○
1-4	コンクリートの著しい劣化	A D	○
1-5	さび汁を伴うひび割れ又は欠損(白華を含む。)	A	○
1-6	鉄筋の露出	A B	○
【備考】			

2. 土台・床組(構造)

No.	項目	方法	判定
2-1	著しいひび割れ、劣化又は欠損 ※鉄骨造の場合、溶接部分の劣化・防錆塗装の劣化(はがれ)等を含む。	A B	○
【備考】			

3. 床(構造)

No.	項目	方法	判定
3-1	著しいひび割れ、劣化又は欠損	A B	○
3-2	著しい沈み	A B	○
3-3	6/1000 以上の傾斜 (凹凸の少ない仕上げによる床の表面における 2 点(3 m 程度離れているものに限る。) の間を結ぶ直線の水平面に対する角度をいう。)	B	○
【備考】 3-3. 1 階廊下で計測 東→西 1.5/1000 の傾斜			

4. 柱及び梁(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
4-1	柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損 ※鉄骨造の場合、溶接部分の劣化・防錆塗装の劣化(はがれ)等を含む。	A B	—
4-2	柱における 6/1000 以上の傾斜 (凹凸の少ない仕上げによる柱の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線(2 m程度以上の長さのものに限る。)の鉛直線に対する角度をいう。)	B	—
4-3	梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損 ※鉄骨造の場合、溶接部分の劣化・防錆塗装の劣化(はがれ)等を含む。	A B	○
4-4	梁の著しいたわみ	A	○
【備考】 4-1. 大壁のため目視不可 4-2. 大壁のため計測不可			

5. 外壁及び軒裏(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
5-1	仕上げの種類の確認 ア. 乾式仕上げ(サイディングボードその他)		
5-2	【各仕上げ共通】 外壁等下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	A B	○
5-3	【乾式仕上げ(サイディングボードその他)】 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損	A B	○
5-4	【乾式仕上げ(サイディングボードその他)】 金属の著しい錆び又は化学的侵食	A B	○
5-5	【タイル仕上げ(湿式工法)】 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損	A B	—
5-6	【タイル仕上げ(湿式工法)】 仕上げ材の著しい浮き	A D	—
5-7	【塗壁仕上げ等】 仕上げ材の著しい浮き	A D	—
【備考】			

6. バルコニー(及び共用廊下)(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
6-1	支持部材又は床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化	A B	○
【備考】			

7. 内壁(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
7-1	内壁下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	A B	○
7-2	壁における 6/1000 以上の傾斜 (凹凸の少ない仕上げによる壁の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線(2 m程度以上の長さのものに限る。)の鉛直線に対する角度をいう。)	B	○
【備考】 7-2. 1階 LDK で計測 東→西 1.1/1000 の傾斜			

8. 天井(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
8-1	天井下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	A	○
【備考】			

9. 小屋組(下屋部分を含む)(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
9-1	小屋組(下屋部分を含む)の著しいひび割れ、劣化、又は欠損 ※鉄骨造の場合、溶接部分の劣化・防錆塗装の劣化(はがれ)等を含む。	A B	○
【備考】			

10. 蟻害(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
10-1	床下点検口等の有無 ア. 有り		
10-2	著しい蟻害 ※鉄骨造の場合、確認不要	A	—
【備考】			

11. 腐朽等(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
11-1	著しい腐朽・腐食等	A B D E	○
【備考】			

12. 鉄筋探査(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
12-1	鉄筋探査の有無 鉄筋探査機による確認(鉄筋の本数及び間隔) ア. 無し		
12-2	基礎における鉄筋の本数及び間隔(立上り)	B	—
12-3	基礎における鉄筋の本数及び間隔(底盤)	B	—
【備考】			

13. コンクリート圧縮強度(構造)

No.	項 目	方 法	判 定
13-1	コンクリート圧縮強度確認の有無 ア. 無し		
13-2	コンクリートの圧縮強度①	B	—
13-3	コンクリートの圧縮強度②	B	—
【備考】			

14. 外壁(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
14-1	外壁のシーリング材の破断又は欠損	A	○
14-2	建具の周囲の隙間又は建具の著しい開閉不良	A C	○
【備考】			

15. 軒裏(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
15-1	軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損	A	○
15-2	軒裏天井の雨漏りの跡	A	○
【備考】			

16. バルコニー(及び共用廊下)(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
16-1	防水層の著しいひび割れ、劣化若しくは欠損又は水切り金物等の不具合	A	—
【備考】 16-1. スノコ敷で目視不可			

17. 内壁(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
17-1	内壁の雨漏りの跡	A	○
【備考】			

18. 天井(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
18-1	天井点検口等の有無 ア. 有り		
18-2	天井の雨漏りの跡	A	○
【備考】			

19. 小屋組(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
19-1	小屋組の雨漏りの跡	A	○
【備考】			

20. 屋根(雨水)

No.	項 目	方 法	判 定
20-1	屋根葺材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれ(屋根葺材による仕上げの場合)	A	○
20-2	防水層の著しいひび割れ、劣化若しくは欠損又は水切り金物等の不具合((1)以外の仕上げの場合)	A	—
【備考】			

21. 改修工事部分

No.	項 目	方 法	判 定
21-1	耐力壁(筋かい、面材耐力壁)、柱、梁、小屋組の新設、撤去、移動に伴う工事の確認	A B F	—
21-2	外壁の防水紙及びバルコニー・陸屋根の防水層の新設、撤去、移動に伴う工事の確認	A B F	—
【備考】			

特記事項


--

全景写真	備考
	

基礎	備考
	

Y2611686

土台・床組	備考
	

床	備考
	

Y2611686

外壁及び軒裏	備考
	

バルコニー(及び共用廊下)(構造)	備考
	

Y2611686

内壁(構造)	備考
 <p>The photograph shows an interior corner of a room with light-colored walls and a wooden floor. A small, white and blue robot is positioned on the floor. Two signs are visible on the left wall, each with a registration number and the JIO logo. The top sign displays '登録物件番号 Y2611686' and the bottom sign displays '登録物件番号 Y2611688'. Red laser lines are projected onto the walls from the robot.</p>	

天井(構造)	備考
 <p>The photograph shows the same interior corner as the previous image, but from a slightly different angle focusing on the ceiling. The robot is still on the floor, and the two signs with registration numbers Y2611686 and Y2611688 are visible on the left wall.</p>	

Y2611686

小屋組(構造)	備考
	

外壁(雨水)	備考
	

Y2611686

軒裏	備考
	

バルコニー(及び共用廊下)(雨水)	備考
	

Y2611686

内壁(雨水)	備考
	

天井(雨水)	備考
	

Y2611686

小屋組(雨水)	備考
	

屋根	備考
	

Y2611686